

- 問1 日本の法体系は、憲法を頂点とした階層的な構造になっています。この構造において、憲法は国家の「最高法規」と位置づけられています。もしも憲法の条文に反する内容を持つ法律や命令が制定された場合、その法的な扱いはどのようになりますか。（2026年 北海道公立入試 類似）
1. 法律の施行を優先し、憲法は将来的に改正されるまで適用を停止する
 2. 憲法に違反する法律や命令は、その効力を有せず無効となる。
 3. 国民投票によって、憲法と法律のどちらを優先するかを決定する。
 4. 新しい法律の内容に合わせて、憲法が自動的に修正される。
- 問2 日本の法体系において、頂点に憲法を置き、その下に国会が制定する法律、さらにその下に内閣が制定する命令や行政機関の規則が位置するという、効力の強さに基づいた階層的な構造が見られます。このような構造において、憲法が持つ性質を表す言葉として最も適切なものを選びなさい。（2021年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 教育基本法
 2. 公法
 3. 最高法規
 4. 特別法
- 問3 日本国憲法第3条では、「天皇の国事に関するすべての行為には、内閣の（ ）を必要とし、内閣が、その責任を負ふ。」と定められています。（ ）に当てはまる語句として正しいものはどれですか。（2022年 青森県公立入試 類似）
1. 助言と同意
 2. 指名と任命
 3. 指示と命令
 4. 助言と承認
- 問4 海岸線から200海里までの範囲で設定され、沿岸国が水産資源や海底の鉱産資源について利用・管理する権利を持つ海域を何といいますか。（2019年 北海道公立入試 類似）
1. 公海
 2. 領海
 3. 接続水域
 4. 排他的経済水域
- 問5 大日本帝国憲法の条文構成に基づき、当時の天皇の地位と権限について説明した文として、背景や制度の仕組みを正しく説明しているものはどれですか。（2024年 山梨県公立入試 類似）
1. 天皇は国の元首であり、統治権を総攬する立場として、陸海軍の統帥や条約の締結など広範な権限を持っていた。
 2. 憲法第1条により主権は国民にあると定められていたため、天皇の外交権は象徴的な儀礼に限られていた。
 3. 条約の締結には帝国議会の議決が必須であり、天皇は議会の決定を執行するのみの立場であった。
 4. 天皇は統治権を持つものの、憲法第22条によって臣民の居住や移転の自由が完全に保障されていたため、外交権は制限されていた。
- 問6 日本国憲法の改正手続きにおいて、国会の発議があった後に国民投票が行われ、その過半数の賛成を必要とする仕組みがとられている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 群馬県公立入試 類似）
1. 個人の尊厳を保つために、国家権力が勝手に法律を書き換えるのを防ぐため。
 2. 国会が国民から選ばれた代表者による唯一の立法機関であることを明確にするため。
 3. 憲法を改正する最終的な決定権が国民にあるという、国民主権の原理に基づいているため。
 4. 国際平和を誠実に希求し、他国との合意形成を図る手続きが必要であるため。
- 問7 日本の政治体制において「国民主権」が採用されたことによる変化や背景について述べた文章のうち、適切なものを選びなさい。（2021年 和歌山県公立入試 類似）
1. 国民主権とは、国家の統治権が複数の政党に分散され、国民はその中から支持する政党にのみ従う制度のことである。
 2. 国民主権の導入により、国民は政治に参加する権利を得たが、法律の範囲内でのみ自由が認められる「臣民」として位置づけられた。
 3. 国民主権を実現するため、三権分立を廃止して、すべての国家権力を国民が直接管理する仕組みへと移行した。
 4. 大日本帝国憲法における天皇主権を改め、国の政治を決定する権利が国民にあることを憲法の前文と第1条で明記した。
- 問8 日本国憲法に定める天皇の役割や行為についての説明として正しいものを一つ選びなさい。（2026年 徳島県公立入試 類似）
1. 政令の制定は、天皇が行う国事行為に含まれる。
 2. 天皇が国事行為を行うには、内閣の助言と承認が必要である。
 3. 最高裁判所長官の指名は、天皇が自らの判断で行う。
 4. 天皇は国の政治を行う実質的な権限を有している。
- 問9 日本国憲法は、通常法律よりも改正の手続きが厳しく定められている「硬性憲法」に分類されます。法律の制定手続き（各議院の出席議員の過半数の賛成）と比較した際、憲法改正の発議において特に厳格化されている点はどこですか。（2015年 岐阜県公立入試 類似）
1. 賛成の基準が「出席議員」ではなく「総議員」であり、かつその「3分の2以上」が必要な点
 2. 衆議院で可決されれば、参議院での議決を経ずに国民投票へ進むことができる点
 3. 国会の議決だけで成立せず、必ず内閣総理大臣の解散総選挙を経なければならない点
 4. 賛成の基準が「総議員」ではなく「出席議員」であり、かつその「3分の2以上」が必要な点
- 問10 「立憲主義」に基づいた現代の政治の仕組みにおいて、憲法と法律の役割の違いを説明した文章として、最も適切なものはどれですか。（2022年 佐賀県公立入試 類似）
1. 憲法は時代の変化に合わせて議会が自由に変更できるが、法律は一度作られると国民投票を経なければ改正することができない。
 2. 憲法は国家権力を制限して人権を守るためであるが、法律は国民が社会生活を送る上で守るべきルールとして定められる。
 3. 憲法は犯罪者を厳しく処罰するために定められるが、法律は国民の権利をどのように拡大するかを自由に決めるためである。
 4. 憲法は政府が国民に対して命令を下すための根拠となるが、法律は国民が政府の決定を批判するために作られる。
- 問11 日本国憲法の改正手続きにおいて、発議から公布までの流れを正しく説明したものはどれですか。（2017年 神奈川県公立入試 類似）
1. 国民が改正案を発議し、国会で過半数の承認を得た後、最高裁判所がその内容を審査して、内閣が公布する
 2. 国会が各議院の総議員の3分の2以上の賛成で発議し、国民投票で有効投票の過半数の賛成を得た後、天皇が国民の名で公布する
 3. 内閣が改正案を発議し、国会で各議院の3分の2以上の賛成を得た後、国民投票で過半数の賛成を得て、天皇が公布する
 4. 国会が各議院の出席議員の過半数の賛成で発議し、国民投票で全有権者の3分の2以上の賛成を得た後、内閣総理大臣が公布する
- 問12 日本国憲法の改正手続きについて述べたものとして、憲法の規定に照らして最も適切な説明はどれですか。（2022年 山口県公立入試 類似）
1. 衆参各議院において、総議員の過半数の賛成で国会が発議し、国民投票で3分の2以上の賛成を必要とする。
 2. 内閣が憲法改正案を国会に提出し、両議院で過半数の賛成を得たのち、国民投票で過半数の賛成を必要とする。
 3. 衆参各議院において、出席議員の3分の2以上の賛成で国会が発議し、国民投票で過半数の賛成を必要とする。
 4. 衆参各議院において、総議員の3分の2以上の賛成で国会が発議し、国民投票で過半数の賛成を必要とする。
- 問13 日本国憲法第1条では、天皇は日本国および日本国民統合の象徴であると規定されています。この象徴としての地位が、どのような根拠に基づいているかを示したものとして、正しい記述を選びなさい。（2021年 兵庫県公立入試 類似）
1. 基本的な人権に基づく天皇の権限
 2. 主権の存する日本国民の総意
 3. 国際社会における平和の希求
 4. 歴史的な伝統と国権の発動